

平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名 東洋合成工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4970 URL <http://www.toyogosei.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木村 有仁
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 金子 順一 (TEL) 03-6891-4970
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	7,162	4.6	△346	—	△335	—	△345	—
25年3月期第2四半期	6,849	△4.3	△34	—	△174	—	△207	—

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 △338百万円(—%) 25年3月期第2四半期 △230百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	△43.49	—
25年3月期第2四半期	△26.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	29,396	6,207	21.1
25年3月期	29,768	6,570	22.1

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 6,207百万円 25年3月期 6,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,900	5.4	△670	—	△570	—	△590	—	△74.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	8,143,390株	25年3月期	8,143,390株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	205,967株	25年3月期	205,967株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	7,937,423株	25年3月期2Q	7,952,523株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュフロー計算書	8
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、成長率が鈍化傾向にあった中国に持ち直しの兆しが見られたものの、過剰生産能力の解消やいわゆる「影の銀行」による融資の焦げ付きに懸念が残ることとなりました。欧州経済も景気後退に歯止めが掛かったものの、回復力はなお弱く、失業率は高水準で、構造改革は道半ばの様相を呈しました。景気回復が持続的なものになりつつある米国においても、雇用の改善が不十分との見方から量的緩和の縮小開始が見送りとなり、景気回復に先行する金利上昇や政府債務の上限問題等も懸念される状況となりました。全体としては、景気回復の兆しが見られたものの、新たな懸念材料も多く抱える展開となりました。

日本経済は、アベノミクスによる円高の是正、株価の上昇を契機に、着実な回復を示しました。個人消費は、消費者マインドの改善に加え雇用・所得環境の良化から底堅く推移し、住宅投資も金利・地価の先高感を背景に堅調な動きとなり、また、設備投資や鉱工業生産も穏やかながら持ち直しつつある状況となりました。政府は、10月1日に来年4月からの消費税率引き上げを決定しましたが、併せて、企業減税や経済対策の策定に入っており、今後は如何に経済成長と財政再建を同時に達成する好循環を実現できるかが試される展開となりました。

このような状況の中、当社グループはお客様との関係強化に努め、お客様のニーズに応えるべく新製品の開発や既存製品の拡販に取り組んだ結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は7,162,950千円（前年同期比+313,070千円、+4.57%）となりました。

損益面では、円安による増収効果はあったものの、原材料の上昇も伴ったこと、前年度期央と当期初に稼働した二つの新工場の固定費負担増等により、営業損失は△346,946千円（前年同期比△312,344千円）、経常損失は△335,209千円（前年同期比△160,374千円）、四半期純損失は△345,216千円（前年同期比△137,656千円）となりました。

【感光性材料事業】

半導体向け感光性材料においては、スマートフォンやタブレット端末など高精細な表示性能が要求される電子機器の拡大が進み、高価格品を中心に需要が伸長しました。また、液晶用途向け感光性材料も、液晶テレビや液晶ディスプレイなどの価格下落を拡販の努力で補い、売上回復に転じました。加えて、電解液・イオン液体においては、車載用途向け電解液の需要が伸張しており、継続して需要開拓を進めております。

以上の結果、同事業の売上高は4,005,058千円（前年同期比+416,107千円、+11.59%）、営業利益は96,279千円（前年同期比+189,325千円）となりました。

【化成品事業】

香料材料部門は、アベノミクスにより円安の追い風を受けましたが、マーケットにおける価格競争は依然として厳しく、減収減益となりました。また、グリーンケミカル部門は、高付加価値品と溶剤リサイクルを中心に引続き市場開拓を進めていますが、国内半導体市場の低迷の影響を受け、減収減益となりました。一方、ロジスティック部門は、お客様満足度の維持・向上に努めた結果、タンク契約率を高水準に維持し、高い利益率を確保しております。

以上の結果、同事業の売上高は3,157,891千円（前年同期比△103,036千円、△3.16%）、営業損失は△443,225千円（前年同期比△501,670千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末における総資産は29,396,833千円となり、前連結会計年度末に比べて371,239千円の減少となりました。

流動資産は9,791,943千円で、前連結会計年度末に比べて32,789千円の減少となりました。これは主に現金及び預金357,997千円の減少によるものであります。

固定資産は19,604,889千円で、前連結会計年度末に比べて338,449千円の減少となりました。これは主に建物及び構築物1,248,184千円と機械装置及び運搬具220,828千円の増加及び有形固定資産その他に含まれております建設仮勘定1,889,039千円の減少によるものであります。

流動負債は12,359,186千円で、前連結会計年度末に比べて448,376千円の減少となりました。これは主に短期借入金993,812千円の増加と流動負債その他に含まれております設備未払金926,382千の減少によるものであります。

固定負債は10,830,213千円で、前連結会計年度末に比べて439,822千円の増加となりました。これは主に長期借入金367,196千円の増加によるものであります。

純資産合計は6,207,433千円で、前連結会計年度末に比べて362,686千円の減少となりました。これは主に利益剰余金369,028千円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本日（平成25年11月8日）公表いたしました「第2四半期累計期間の連結業績予想値と実績値との差異及び通期連結業績予想値の修正並びに剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,669,457	1,311,460
受取手形及び売掛金	2,268,894	2,611,201
商品及び製品	4,416,301	4,509,287
仕掛品	127,322	102,002
原材料及び貯蔵品	927,288	998,451
その他	417,786	262,190
貸倒引当金	△2,316	△2,649
流動資産合計	9,824,733	9,791,943
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,529,678	7,777,863
機械装置及び運搬具（純額）	4,752,437	4,973,265
土地	4,934,536	4,922,863
その他（純額）	2,797,229	981,495
有形固定資産合計	19,013,881	18,655,487
無形固定資産		
その他	312,335	336,625
無形固定資産合計	312,335	336,625
投資その他の資産		
その他	625,983	621,637
貸倒引当金	△8,861	△8,861
投資その他の資産合計	617,122	612,776
固定資産合計	19,943,339	19,604,889
資産合計	29,768,072	29,396,833

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,039,327	1,770,035
短期借入金	8,110,911	9,104,724
未払法人税等	64,357	14,992
賞与引当金	261,459	242,329
その他の引当金	10,000	—
その他	2,321,507	1,227,103
流動負債合計	12,807,562	12,359,186
固定負債		
長期借入金	8,831,098	9,198,295
退職給付引当金	973,737	1,015,961
その他の引当金	115,258	127,819
その他	470,295	488,136
固定負債合計	10,390,390	10,830,213
負債合計	23,197,953	23,189,399
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,618,888	1,618,888
資本剰余金	1,541,589	1,541,589
利益剰余金	3,484,252	3,115,223
自己株式	△88,923	△88,923
株主資本合計	6,555,806	6,186,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,604	20,655
繰延ヘッジ損益	708	—
その他の包括利益累計額合計	14,312	20,655
純資産合計	6,570,119	6,207,433
負債純資産合計	29,768,072	29,396,833

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	6,849,879	7,162,950
売上原価	5,710,262	6,212,707
売上総利益	1,139,616	950,243
販売費及び一般管理費	1,174,219	1,297,189
営業損失(△)	△34,602	△346,946
営業外収益		
受取利息	28	36
受取配当金	4,906	5,723
立退料収入	—	32,500
その他	32,367	94,420
営業外収益合計	37,302	132,680
営業外費用		
支払利息	90,843	114,364
為替差損	59,597	—
その他	27,093	6,578
営業外費用合計	177,535	120,942
経常損失(△)	△174,835	△335,209
特別利益		
固定資産売却益	—	7,518
特別利益合計	—	7,518
特別損失		
固定資産売却損	—	529
固定資産除却損	13,511	5,996
特別損失合計	13,511	6,525
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,346	△334,216
法人税、住民税及び事業税	5,239	5,239
法人税等調整額	14,071	5,761
法人税等合計	19,310	11,000
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△207,657	△345,216
少数株主損失(△)	△96	—
四半期純損失(△)	△207,560	△345,216

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△207,657	△345,216
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,349	7,051
繰延ヘッジ損益	—	△708
その他の包括利益合計	△22,349	6,342
四半期包括利益	△230,007	△338,873
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△229,910	△338,873
少数株主に係る四半期包括利益	△96	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△188,346	△334,216
減価償却費	626,539	914,108
のれん償却額	1,548	—
引当金の増減額(△は減少)	△56,069	25,989
受取利息及び受取配当金	△4,934	△5,759
支払利息	90,843	114,364
固定資産除却損	13,511	5,996
固定資産売却損益(△は益)	—	△6,989
売上債権の増減額(△は増加)	198,611	△342,306
たな卸資産の増減額(△は増加)	294,001	△138,829
仕入債務の増減額(△は減少)	△37,918	△269,291
未払又は未収消費税等の増減額	△7,076	233,527
その他	94,487	△113,122
小計	1,025,199	83,469
利息及び配当金の受取額	4,934	5,759
利息の支払額	△87,678	△128,030
保険金の受取額	—	5,030
法人税等の支払額	△10,474	△59,971
営業活動によるキャッシュ・フロー	931,981	△93,740
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	70,000
有形固定資産の取得による支出	△2,106,368	△1,539,242
有形固定資産の除却による支出	—	△52
有形固定資産の売却による収入	—	27,842
無形固定資産の取得による支出	△106,490	△68,375
投資有価証券の取得による支出	△331	△336
貸付金の回収による収入	120	120
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,213,070	△1,510,043
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,440,000	17,180,000
短期借入金の返済による支出	△11,448,000	△16,268,000
長期借入れによる収入	3,550,000	2,350,000
長期借入金の返済による支出	△1,533,386	△1,900,991
リース債務の返済による支出	△28,700	△28,246
配当金の支払額	△23,716	△23,714
財務活動によるキャッシュ・フロー	956,196	1,309,047
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3,353	6,739
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△328,245	△287,997
現金及び現金同等物の期首残高	1,298,927	1,169,457
現金及び現金同等物の四半期末残高	970,682	881,460

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,588,951	3,260,928	6,849,879	—	6,849,879
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	416,900	416,900	△416,900	—
計	3,588,951	3,677,829	7,266,780	△416,900	6,849,879
セグメント利益又は損失(△)	△93,046	58,444	△34,602	—	△34,602

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	感光性材料事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,005,058	3,157,891	7,162,950	—	7,162,950
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	45,917	45,917	△45,917	—
計	4,005,058	3,203,808	7,208,867	△45,917	7,162,950
セグメント利益又は損失(△)	96,279	△443,225	△346,946	—	△346,946

(注) セグメント利益又は損失は四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な事項はありません。